

# 塩谷郡市医師会だより

平成14(2002)年12月25日 第27号

社団法人 塩谷郡市医師会 塩谷郡氏家町桜野 1319 番地 3 氏家町保健センター内 Tel 028(682)3518

## 平成14年度第3回役員会報告

平成14年12月9日(月)午後6時30分  
氏家町よし茶屋にて開催



出席役員：尾形直会長・大野・西川・池田・山田  
中川・加藤・小林祐・二井谷・小林正・尾形新

大野副会長の議事進行にて次の協議がなされました。

### ◆会長からの報告事項

#### ○栃木県医師会第109回臨時時代議員会(10/5)

Q 現行の医療保険制度について県医師会長の考えは  
(尾形直会長)

A フリーアクセス、国民皆保険を堅持し、医療費に占める薬剤費・材料費を下げたい、医療供給体制は機能分化が必要。患者、国民の視点にたった医療  
(住宝県医師会長)

Q 丸紅ベンジディがこの事業から撤退した以上、  
白紙に戻すべきでは  
(尾形新)

医療廃棄物適正集中処理施設建設進捗状況の報告に対しー

A 西那須野町での建設は断念したが、他に1ヶ所候補地があるので、もう少し夢を追ってみたい。

(皆藤副会長)

...事業の継続を明確にしたように思われる...

《報告》

- 1.平成13年度県医師会決算報告に関する件
- 2.平成13年度塩原病院決算報告に関する件
- 3.県医師会会費賦課方法の見直し

平成15年から適応し、個人割額と機関割額の合計

a) 開業医

個人割額(個人・医療法人立の管理者...3万  
機関割額(無床) ...9万  
(有床1~19) ...15万  
( " 20~) ...35万

b) 勤務医

個人割額

個人・医療法人以外の管理者...2万

勤務医(県庁勤務医を含む)...2万

大学医師会費(管理者を除く)...1万

機関割額...上記a)欄の機関割額に同じ

#### 4.塩原病院将来構想検討委員会の答申書

「県北リハビリテーション拠点施設として、現在地に県の全面的な支援を受け建設すべきである。」との答申を受け、新病院建設委員会を設置し、プロポーザルによる地質調査を開始した。建設の最終決定は代議員会での承認を得る。

#### 5.決議文

小泉内閣は、「聖域なき構造改革」を掲げ、内閣府主導の異例とも言える手法で政局運営を行ってきた。特に医療保険制度改革では、国の経済対策の失政を棚に上げ、国民および医療機関にのみ負担を求めた。

すなわち、今回の診療報酬改定を含む医療制度改革は、「三方一両損」なる詭弁を弄し、国民・患者に1兆5千億円もの負担を強要し、医療機関に国民皆保険制度始まって以来の診療報酬マイナス改定を押しつける一方、国の痛みはほとんどない公平極まりないものであった。

更に小泉構造改革は、経済財政諮問会議、総合規制改革会議を中心として、保険者機能の強化や営利企業の参入等を骨子とした医療になじまない市場経済原理を導入し、社会保障としての医療を切り捨てようとするものであり、いまや日本の皆保険制度は極めて危機的状況に追い込まれつつある。

ここに栃木県医師会は国民の健康と生命を守るため、政府に対し、医療の本質を無視した経済・財政論のみを優先する医療政策に抗議し、これらを払拭するため、下記の事項を強く要望する。

塩谷郡市医師会ホームページ	広報委員会編集部	医師会事務局
U R L <a href="http://www.tochigi-med.or.jp/~shioya/">http://www.tochigi-med.or.jp/~shioya/</a> M L <a href="mailto:shioya-ml@tochigi-med.or.jp">shioya-ml@tochigi-med.or.jp</a>	尾形新一郎 <a href="mailto:ogata@o-ga-ta.or.jp">ogata@o-ga-ta.or.jp</a>	川原 <a href="mailto:shioya@triton.ocn.ne.jp">shioya@triton.ocn.ne.jp</a> 坂和 <a href="mailto:shioya@tochigi-med.or.jp">shioya@tochigi-med.or.jp</a>

## 1.国民皆保険制度の堅持

### 1.高齢者及び被用者保険本人の一部負担増の撤回

#### 1.医療技術の正当な評価による診療報酬改定の不合理の是正

#### 1.医療への市場導原理入による営利企業参入の阻止以上、決議する。

平成 14 年 10 月 5 日

第 109 回栃木県医師会臨時時代議員会

## ○県医師会医療安全対策委員会

10/28 新設、尾形会長出席

## ○栃木県都市・大学医師会正副会長懇談会（11/2）

塩谷都市医師会関連質疑応答のみを掲載します。

### Q 講演会など各種勉強会の講師謝礼について

【提案理由】礼金をスポンサーにお願いすることが多かったが、スポンサーも厳しくなっている。公益法人の会計基準も厳しく、事業費に関しては県の指導もある。スポンサーの分が事業費に計上できず、事業費が少ないのではないかと指摘をされた。他の医師会ではどうしているか？（大野副会長）

A 小山地区の状況（松岡副会長）

事業費は総額の 60%程度とされており自分たちの負担を増やさなければと思っております。

### Q 0-157 集団食中毒の対応について

【提案理由】0-157 集団食中毒は行政指導で幕が引かれたが、自施設におきた場合どうなるか不安がある。これからの対策に県医師会が中心となり頑張ってもらいたい。指導の様子取材、報道などブロックできなかったのだろうか？（尾形直会長）

A 県医師会宝住会長

今回は宇都宮市役所、保健所が中心となって動いた。食中毒の報告がきたらば会員に知らせることになっているが、今回は報告が遅れた（4日間）とされている。今後できることは二次感染を防ぐこと。

0-157 は 70 度 10 分で死滅、48 時間で便にでなければ大丈夫。等の情報を会員に伝えます。

A 上都賀都市の状況（山崎副会長）

小学 1 年生に発症、その子の妹さんが死亡しているが原因は不明。医師会に保健所から方針、保菌者に何を使うかなどの情報が流された。

A 宇都宮市の状況（星副会長）

8 月 7 日に市長より情報が入り、8 月 10 日に会員に発症について、血便、下痢で便培養を促す情報提供を行った。また、透析医会に対して大量発生時に大病院が透析の対応が不能となった場合の協力依頼を行い、理解を得た。

A 済生会宇都宮病院の状況（中田副会長）

一度に 7、8 人入った。更なる大量発生時にどうするかは今後の課題。精神疾患でコミュニケーションの取りにくい患者さんの扱いも絡んだ。

A 那須都市の状況（高橋副会長）

小学生の血便の患者が大田原日赤病院に収容された。0-157 が確認された後、保健所が中心となり、家族

の便培養（兄弟に感染あり）学校では他の児童の検査が行われた。このような対応は保健所が中心となるべきで、医師会では無理である。学校などは食事を 1 週間位保管しているが、家庭での食材からの原因追求は難しい。

### Q 県医師会役員について

【提案理由】県医師会をパワーアップすることで、郡市医師会の仕事もできることとできないことの区別が明瞭となりやすくなる。パワーアップを提案します。（尾形直会長）

A 県医師会宝住会長

理事を活用してはどうかとの提案と受け止めて、今後の検討課題とします。常任理事の仕事も多いので他県の例を参考にしたい。

A 南那須阿久津会長

理事は県医師会の決めたことを全員に伝えるパイプ役として大切な任務がある。

A 足利市高橋副会長

足利市は 1 市だが上都賀（2 市 8 町）などと各都市で内容が異なるので、一律に決めるのは現実的には難しいか。

A 足利市中長静会長

足利からは往復 3 時間もかかり距離が遠い。顔を見なくても会議ができる方法などを考えてはどうか。

A 県医師会宝住会長

埼玉県ではテレビ会議を行ったらしいが、慣れないと駄目なようである。理事の方々の負担にならないように考えていきたい。

## ○第 42 回栃木県総合医学会（11/17）

### ○国保審査員

当医師会より内科：山田 聡

耳鼻科：村井信之 が選出された。

## + 議題

イ) 郡市医師会の社会活動について...その具体的行動来年度より委員会を 2 つ新設することになりました。

尾形新先生の提案で、医師会活動の一環として地域住民を対象にした健康教室などタイムリーなテーマを選定し、住民参加型のイベントと位置づけ毎年開催できる事業ということで検討することになった。委員：尾形新・山田・加藤・二井谷・喜連川 1 名口）平成 15 年度医療機能分化推進事業について県の委託事業であり、来年 2 月に最終決定する。3 年計画の 1 年目で初年度は住民の意識や患者の動態などの実態調査などを検討。最終的には医療分化（病診連携・診診連携）の実現を模索する。健康手帳の製作なども検討している。名称は医療機能分化推進委員会

委員：(池田、中尾、大和田、服部(塩谷総合病院)  
氏家1名、廣木、黒須病院1名)  
八) 予備費充当について承認される

#### 協議報告事項

#### ○X線漏洩線量測定費用は下記のとおり

(株)日本放射線技術研究センター

宇都宮市陽南2丁目14-28 028-659-7050

¥15000+消費税 1管球追加¥5000

(有)ホスピタルテクノサービス

宇都宮市菊水町3-1大友ビル 028-632-7630

¥40000+消費税

千代田テクノル

東京都文京区湯島1-7-12千代田御茶ノ水ビル

03-3816-2531

¥24000+消費税 ガラスバッジ

#### ○学校保健

学校医報酬は市町村毎にかなり相違があり、市町村合併の流れの中で手当ての違いが問題になると予想されるため、医師会長会議で県医師会に統一基準の策定を依頼しました。

#### ○電子カルテのビデオの貸出し

医師会事務局にありますのでご利用ください。

#### ○エチレンオキサイトガスの滅菌器の濃度測定

同機を使用している機関では濃度測定が必要と思われる。一度測定してみてもはどうでしょうか。

#### ○その他

医療安全管理体制の見直し、平成14年度各種表彰者、NTT東日本からの休日当番医の情報提供について話し合われました。

## 医師会忘年会

11月30日(土)午後6時より、氏家町「よし茶屋」にて忘年会が開催されました。



22名の会員が出席し、松山医院・松山猛郎院長による「医学よもやま話 セクソロジーも含めて」と題する講演が行われました。

まさに医師会の大先輩のお話で、長年の研究成果の

一部をご披露いただきましたが、時間の都合もあり残念ながらすべてのお話をお聞きすることができませんでした。

残りは医師会だよりに寄稿していただくことになりました。

### 【事務局からのお知らせ】

#### 新年会のご案内

日時 平成15年1月16日(木)18時30分~

場所 高根沢町元気あつぷり村

幹事 高根沢町医師団

#### 脳卒中予防講習会

日時 平成15年1月30日(木)19時~

場所 氏家町保健センター集団指導室

テーマ 「第一線の診療で行うべき脳卒中患者の管理マニュアル」

講師 獨協医科大学 平田幸一教授